

平成30年度 第2回安全教育研修

原子力事業所安全協力協定第3条第1項第2号に基づく安全教育に係る協力活動は、「平成30年度原子力事業所安全協力協定年間活動基本計画」に基づき、平成30年度第2回安全教育研修を以下のとおり実施した。

〔開催日時〕 平成31年2月1日（金） 13：10～16：40

〔開催場所〕 日本原子力発電株式会社 東海事業本部東海総合研修センター

〔受講者〕 17名/6事業所

初めに、東海第二発電所の近況として新規規制基準適合性に係る「原子炉設置変更許可」等の審査の概要と安全対策の対応状況等について、講話が行われた。

その後、2班に分かれ「身の周りの放射線測定体験」と「シミュレータによる運転体験」の実習が行われた。最後に、「東海第二発電所フルスコープシミュレータ見学」では、3.11の福島第一原子力発電所の中央制御室の状況が再現された。制御盤に表示された原子炉の変化や制御盤上部に設置された警報パネルが一斉に点灯する様子を、そして電源喪失により室内照明や警報パネルが消灯し、暗くなった制御室内の状況を体験することができた。

研修後に実施したアンケートでは、東海第二発電所の近況については、「防波堤や非常用電源車等、想定以上の事故が起こった場合の準備が3.11等の教訓を受けてかなり整っている印象を受けた。」や放射線測定実習では、「身の回りの放射線についての授業を子供向けにしたことがあった、この研修を前もって受けていれば、もっと良く説明できたと思う。」等の意見もあった。また、シミュレータ運転体験や見学については、「発電炉の仕組みが理解できた。」、「福島を再現した時は臨場感があった。」等の意見があった。

〔研修会概要〕

【講 話】 東海第二発電所の近況について

【実 習】 ①身の周りの放射線測定体験、②シミュレータによる運転体験

【見 学】 東海第二発電所フルスコープシミュレータ

【研修風景】



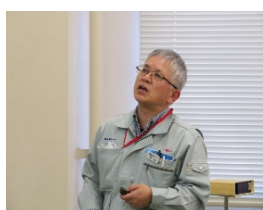
大森総合研修センター所長ご挨拶



講話「東海第二発電所の近況について」



実習①「身の周りの放射線測定体験」



実習②「シミュレータによる運転体験」

